

講義名	日本史A			授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

テーマ：日本芸能文化史から見た日本史
 本講義の目的は、日本の歴史の中で「芸能文化史」に視点を置き、その特性を探ることにある。人々が神社や寺院で行事をおこなってきた過程において、日本の芸能文化史にも変遷が生じてきた。そこには、その時代を生きた人々の信仰のかけがえがなくなる。そこで、15回の講義のうち、前半は主に「神社」の行事、後半は主に「寺院」の行事を具体的に取り上げ、その特色を説明する。そして、日本の歴史の中に、その特性を位置付けながら講義を進める。

到達目標

学生が、講義の内容を理解した上で、日本の歴史の中で継承されてきた行事の特色を、自分の言葉で一つ説明できるようになる。

提出課題

講義では、毎回、講義内容に関する感想などを記入し、小レポートとして提出してもらう。感想文のテーマは、講義ごとに伝える。小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。このレポート課題の詳細は別途、11月前半に、講義中の説明ならびにRUKA portalの「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の講義に書いてもらう感想文やレポートの内容は、提出後に次の回の講義などで、日本の歴史の事例として紹介する。

評価の基準

評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配付し、詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

1. 講義開始時間に着席しておくこと。
2. 予備として各自が準備した内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
3. 講義中に私語をして、他の人の受講の妨げにならないように注意すること。
4. 15回の講義の出欠管理は、各自で行うこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
 各回毎、プリント資料を配布する。プリント資料は無くならないように保存すること。
 <参考文献>
 講義中に適宜、紹介する。

授業計画

講義の進め方の詳細は、第1回の講義で説明する。

- 第1回 「日本史とは」 日本芸能文化史をどのようにとらえるか
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第2回 「神祇の起源」 人々の信仰
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第3回 「御霊会」 やすらい祭
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第4回 「宮座の成立」 春日若狭おん祭
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第5回 「田楽」 御田掛祭
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第6回 「田楽」 田楽の歴史
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第7回 「猿楽・能楽」 翁舞
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第8回 「神楽」 神楽と地域
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第9回 「伎楽の伝来」 伎楽と舞楽
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第10回 「念仏の流行」 浄土信仰と人々
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第11回 「寺院の法会」 修正会と歴史
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第12回 「寺院の法会」 兵庫県の修正会と鬼
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第13回 「寺院の法会」 大分県の修正会と鬼
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第14回 「人形浄瑠璃・文楽」
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第15回 「まとめ」 身近にある日本の歴史
 本課内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。
 (2) 知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人材
 ・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）
 ・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
 ・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
 ・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義は、プリントを用いた講義の形式で進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。講義担当者は民俗学に関する現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、日本の歴史や地域の特性を紹介しながら講義を行う。

備考

《卒業生へのメッセージ》
 現在の日本は、様々な時代の積み重ねで成り立っている。そのような多くの情報が蓄積された歴史の中で、この講義では神社や寺院の歴史にテーマをしぼり、そこで行われる年中行事（伝統芸能や民俗芸能）について考える。日本の様々な歴史の中から、一つの事例を深く掘り下げて考える機会にしていきたい。